

呼吸器内科学分野

呼吸器内科では、せきや息切れといった症状に悩む患者さんを診療しながら、呼吸器の病気の原因や成り立ち、その治療法を研究しています。肺は空気中の酸素を体内に取り込み体内の二酸化炭素を排出する働きをする重要な役割を担います。そのため常に様々な異物（アレルギー物質や微生物、大気汚染物質など）を含む大気と接触しています。みなさんの肺は、通常それらを上手に排除しながら呼吸していますが、吸い込む異物と防御のバランスが崩れてしまうと、気管支喘息や肺炎、肺癌などを発症してしまいます。すなわち、大気中の無数の異物と、時にはそれに対する体の過度の防御反応が、呼吸器の病気の原因になります。また、全身の血液は必ず肺を通して全身に運ばれるため、全身の病気の影響を最も受けやすい臓器でもあります。免疫の異常、他の臓器の異常、治療で使用している薬などが原因となり、肺は様々な病気を発症することがあります。私たちはそれらの原因を一つ一つ突き止め、すべての呼吸器の病気を治すことを目指しています。

今回のオープンキャンパスでは、呼吸器の病気や治療、そして当科で実施している最新の研究についてのご紹介と、呼吸器疾患に関するトリビアをクイズ形式で行う予定です。